

市政モニターアンケート結果（ごみ減量施策について）

調査目的：本市が実施しているごみ減量施策に対する市民の認知度や行動等について調査し、今後のごみ減量施策の展開に役立てることを目的とした。

調査内容：平成25年度から開始した紙ごみの分別収集や使用済小型家電の拠点回収等に係る市民の認知度とともに、こうした施策による市民の減量に係る意識や行動の変化について調査した。

実施期間：平成26年2月21日（金）～平成26年3月3日（月）

回答者数：579名／914名（回答率：63.3%）

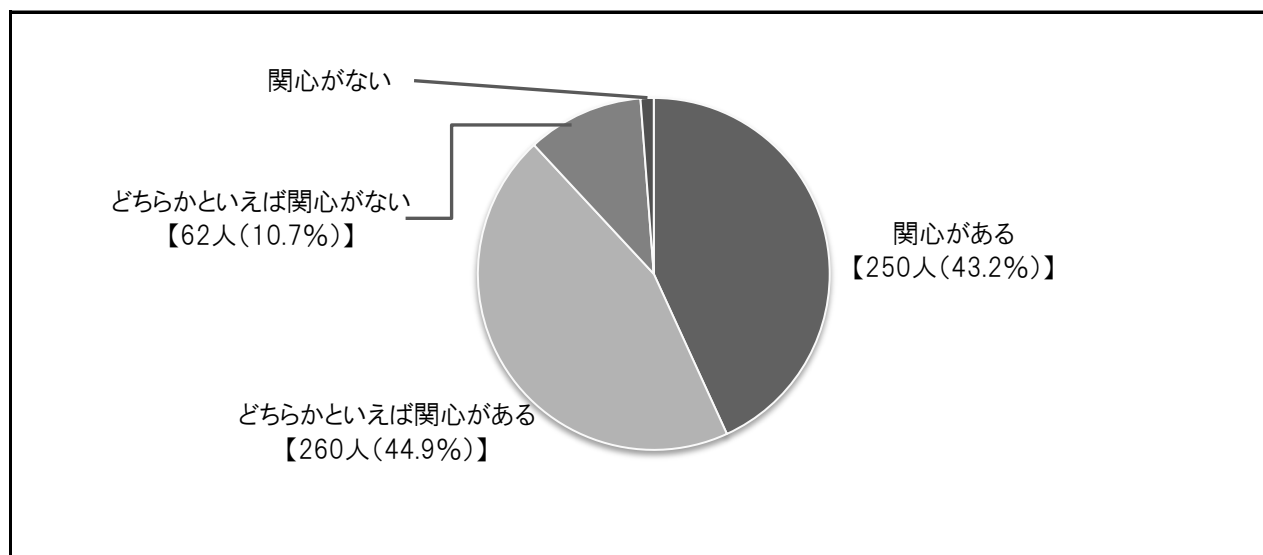
〔回答者属性〕

年代		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計	
性別	男性	12名	33名	67名	45名	104名	261名	
		4.6%	12.6%	25.7%	17.2%	39.8%	100.0%	(男性年代別の割合)
		27.9%	27.5%	39.2%	44.1%	72.7%	45.1%	(同年代男女別の割合)
	女性	31名	87名	104名	57名	39名	318名	
		9.7%	27.4%	32.7%	17.9%	12.3%	100.0%	(女性年代別の割合)
		72.1%	72.5%	60.8%	55.9%	27.3%	54.9%	(同年代男女別の割合)
合計		43名	120名	171名	102名	143名	579名	
		7.4%	20.7%	29.5%	17.6%	24.7%	100.0%	(年代別の割合)
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

■ ごみ問題意識について

問1 あなたは、日常生活の中で、ごみ減量・リサイクルについてどのようにお考えですか。

〔回答者数：579名〕

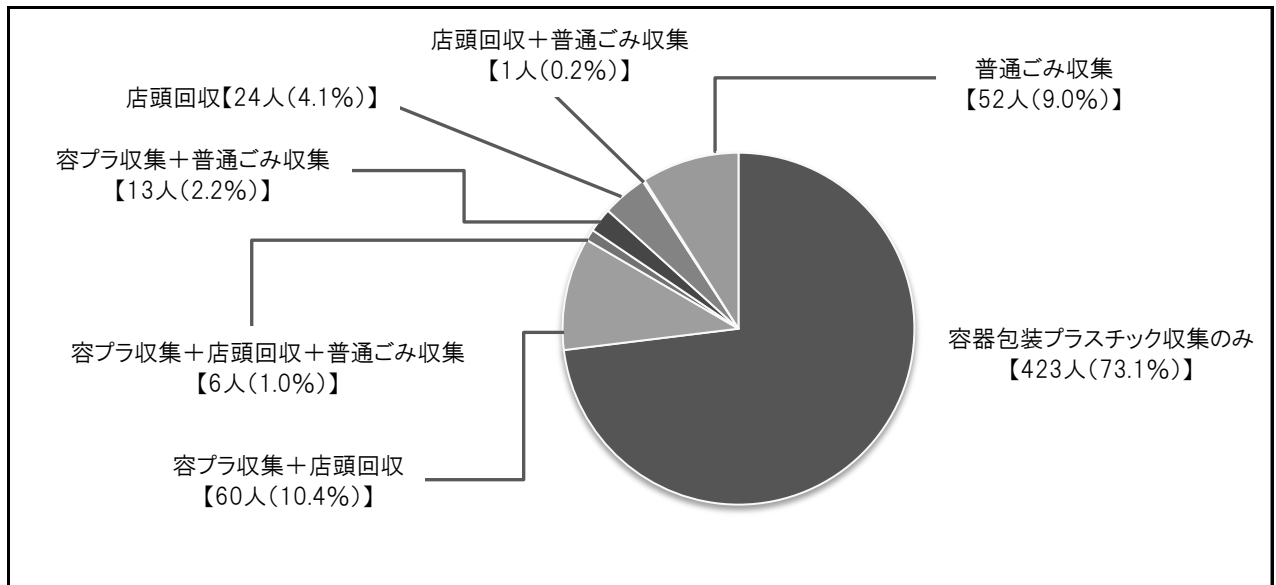


「興味がある」、「どちらかといえば興味がある」の2項目で、579人中510人（88.1%）となっており、高い割合で興味がある。

■ 容器包装プラスチックの分別収集について

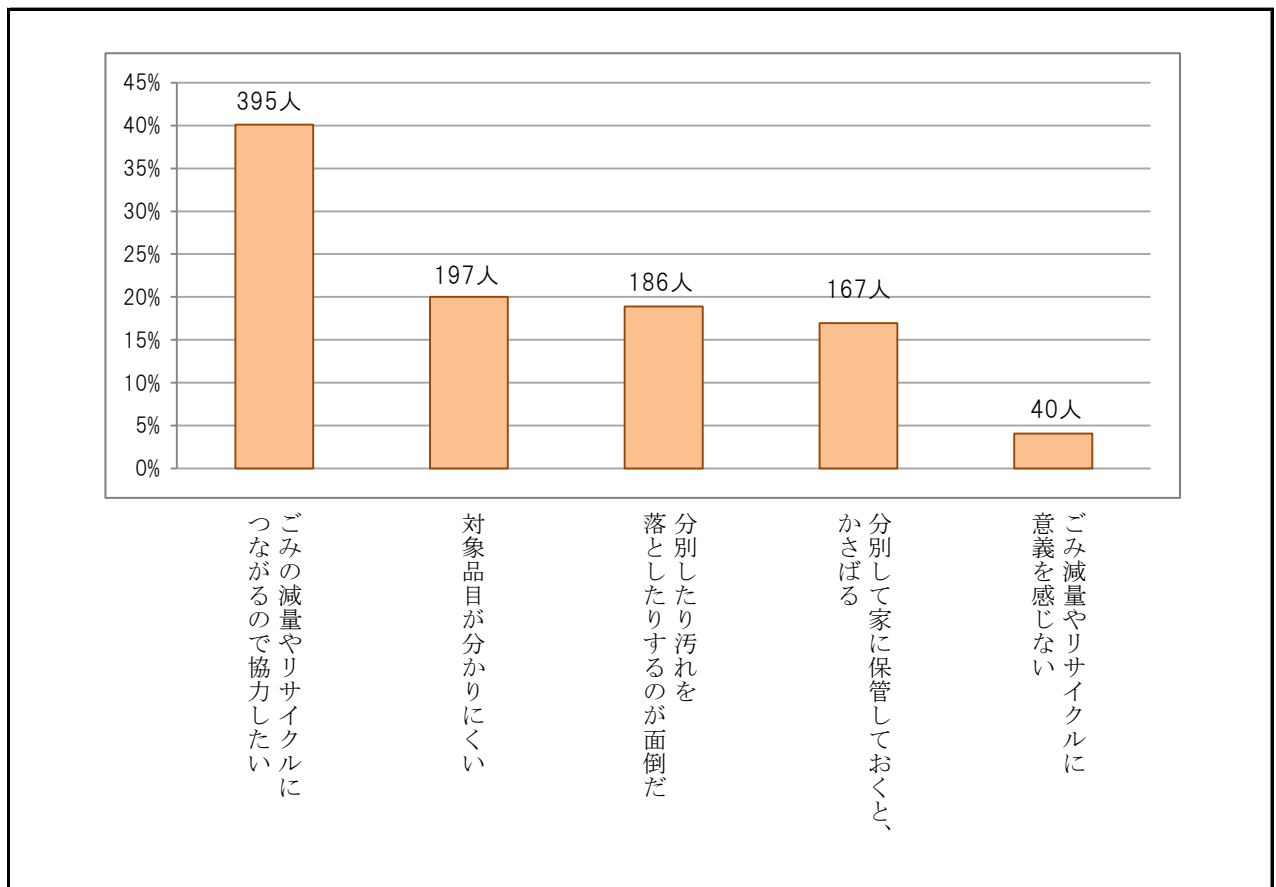
大阪市では、週に1回決まった曜日に容器包装プラスチックの分別収集を行っています。

問2 あなたの家庭では、容器包装プラスチックをどのように出していますか。 [回答者数：579名]



問3 あなたは、容器包装プラスチックを分別収集することについて、どう思いますか。

[回答者数：579名（複数回答可）]



「ごみの減量やリサイクルにつながるので協力したい」と答えた方が多い一方で、「対象品目がわかりにくい」、「分別したり汚れを落としたりするのが面倒だ」、「分別して家に保管しておくとかさばる」と答えた方もあった。

■ 古紙・衣類の分別収集について

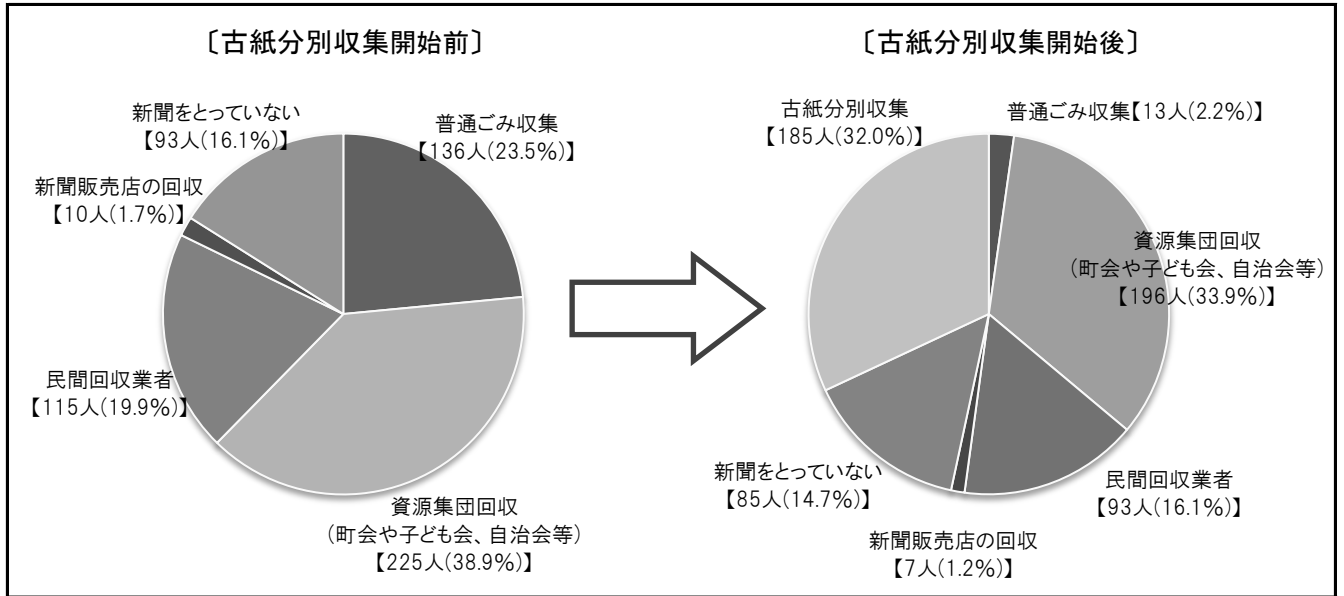
大阪市では、平成25年10月から資源化可能な古紙・衣類の分別収集を全ての区で実施しており、月に2回決まった曜日に収集を行っています。

問4 あなたのご家庭では、古紙・衣類分別収集が始まるまで、対象品目をどのように出していましたか。品目ごとに、主な出し方を1つお選びください。

問5 あなたのご家庭では、古紙・衣類分別収集が始まってから、対象品目をどのように出していますか。品目ごとに、主な出し方を1つお選びください。

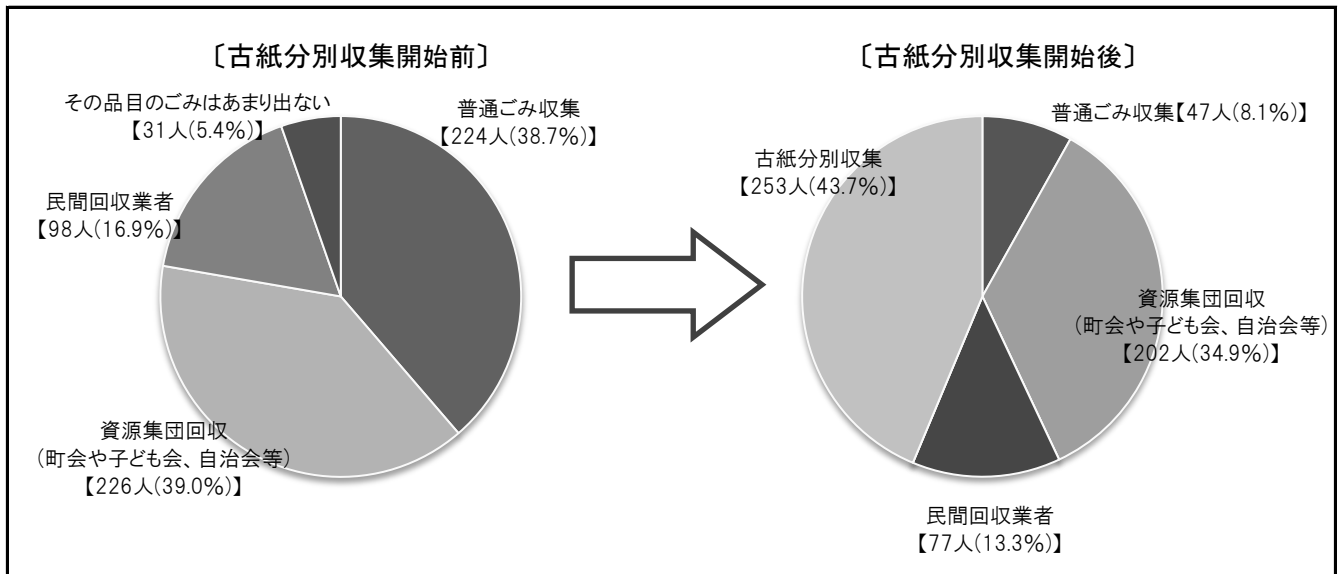
[回答者数：579名]

【新聞・折込チラシ】



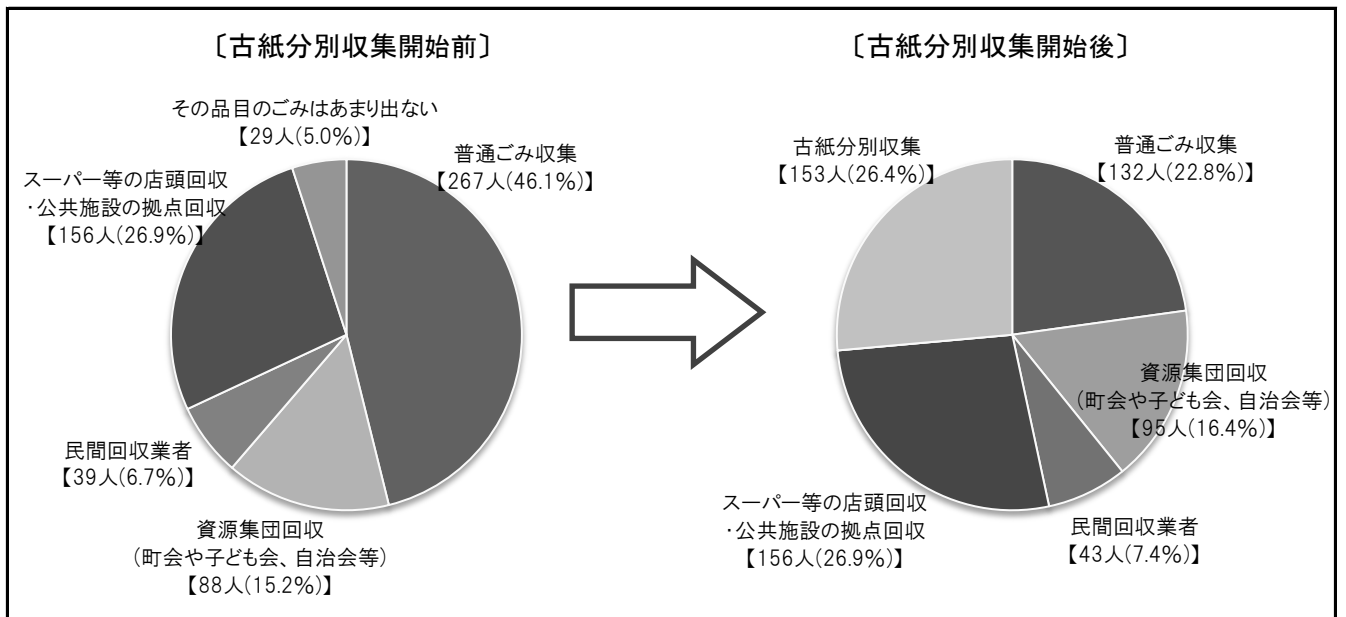
- ・ 普通ごみ収集への排出が23.5%から2.2%になり、古紙分別収集への排出が32.0%になっている。
- ・ 資源集団回収への排出は38.9%から33.9%になっている。

【段ボール】



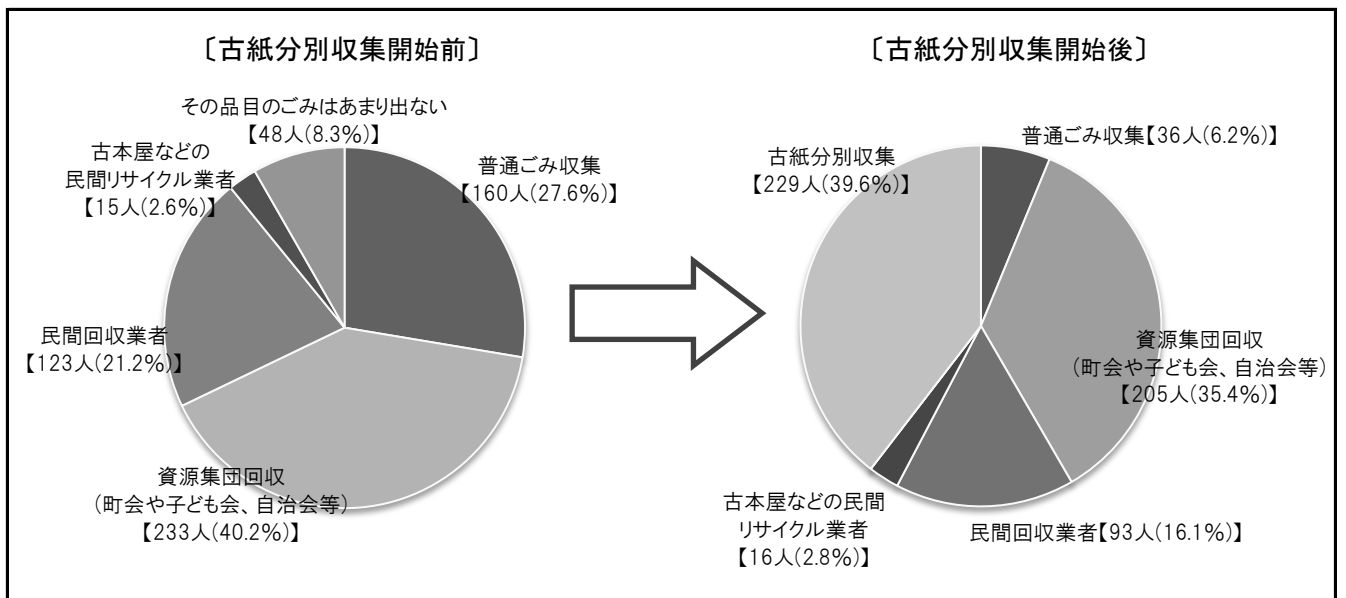
- ・ 普通ごみ収集への排出が38.7%から8.1%になり、古紙分別収集への排出が43.7%になっている。
- ・ 資源集団回収への排出は39.0%から34.9%になっている。

【紙パック】



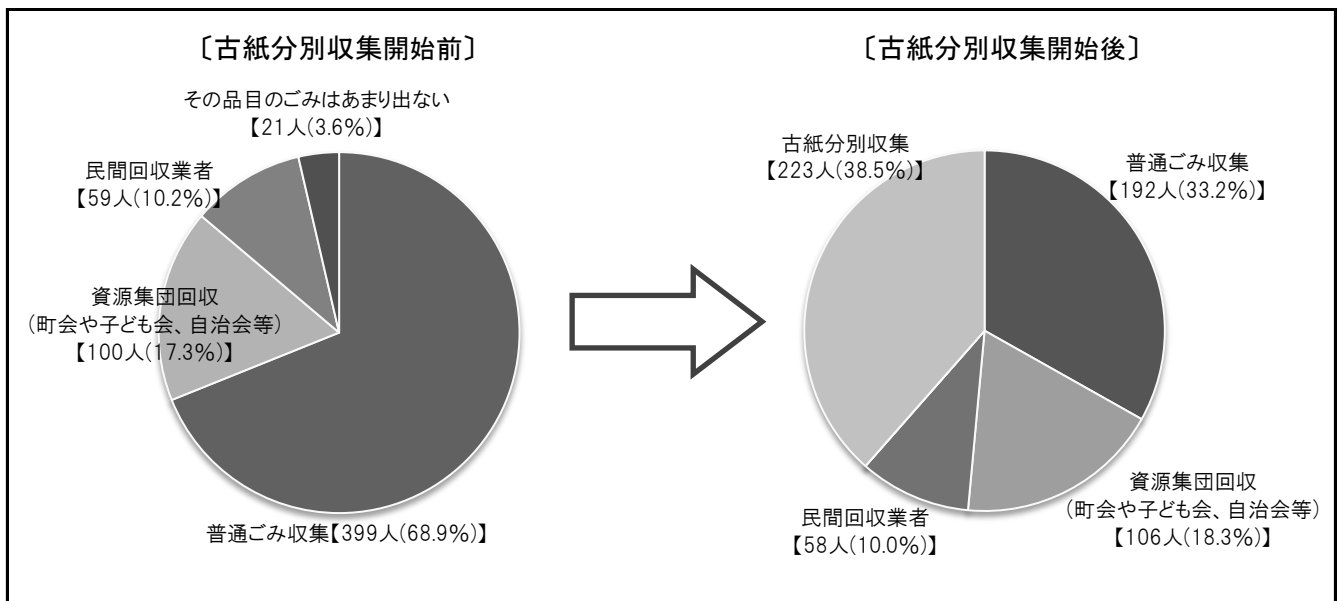
- ・ 普通ごみ収集への排出が46.1%から22.8%になり、古紙分別収集への排出が26.4%になっている。

【雑誌】



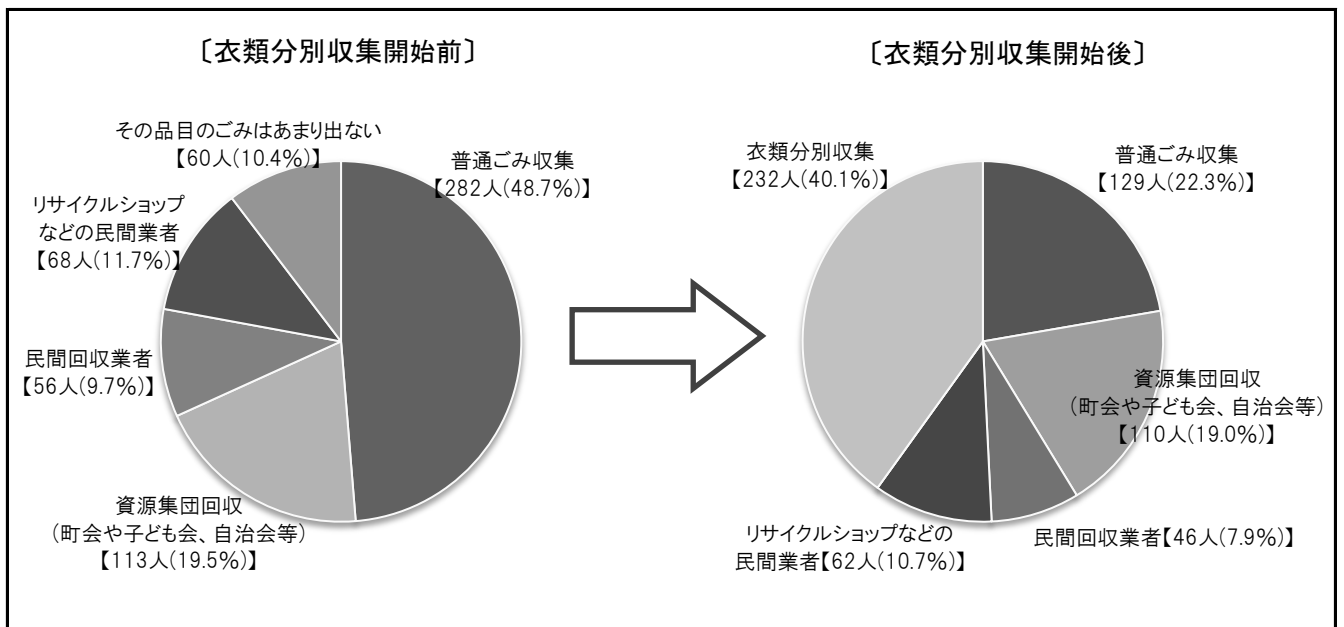
- ・ 普通ごみ収集への排出が27.6%から6.2%になり、古紙分別収集への排出が39.6%になっている。
- ・ 資源集団回収への排出は40.2%から35.4%になっている。

【その他の紙】



・普通ごみ収集への排出が68.9%から33.2%になり、古紙分別収集への排出が38.5%になっている。

【衣類】



・普通ごみ収集への排出が48.7%から22.3%になり、衣類分別収集への排出が40.1%になっている。

■ 家庭ごみの分別排出の徹底（残置による啓発指導）について

問6 あなたは、大阪市が「残置による啓発指導」を行っていることを知っていますか。

〔回答者数：579名〕

問7 【問6】で『知っている』とお答えの方にお尋ねします。

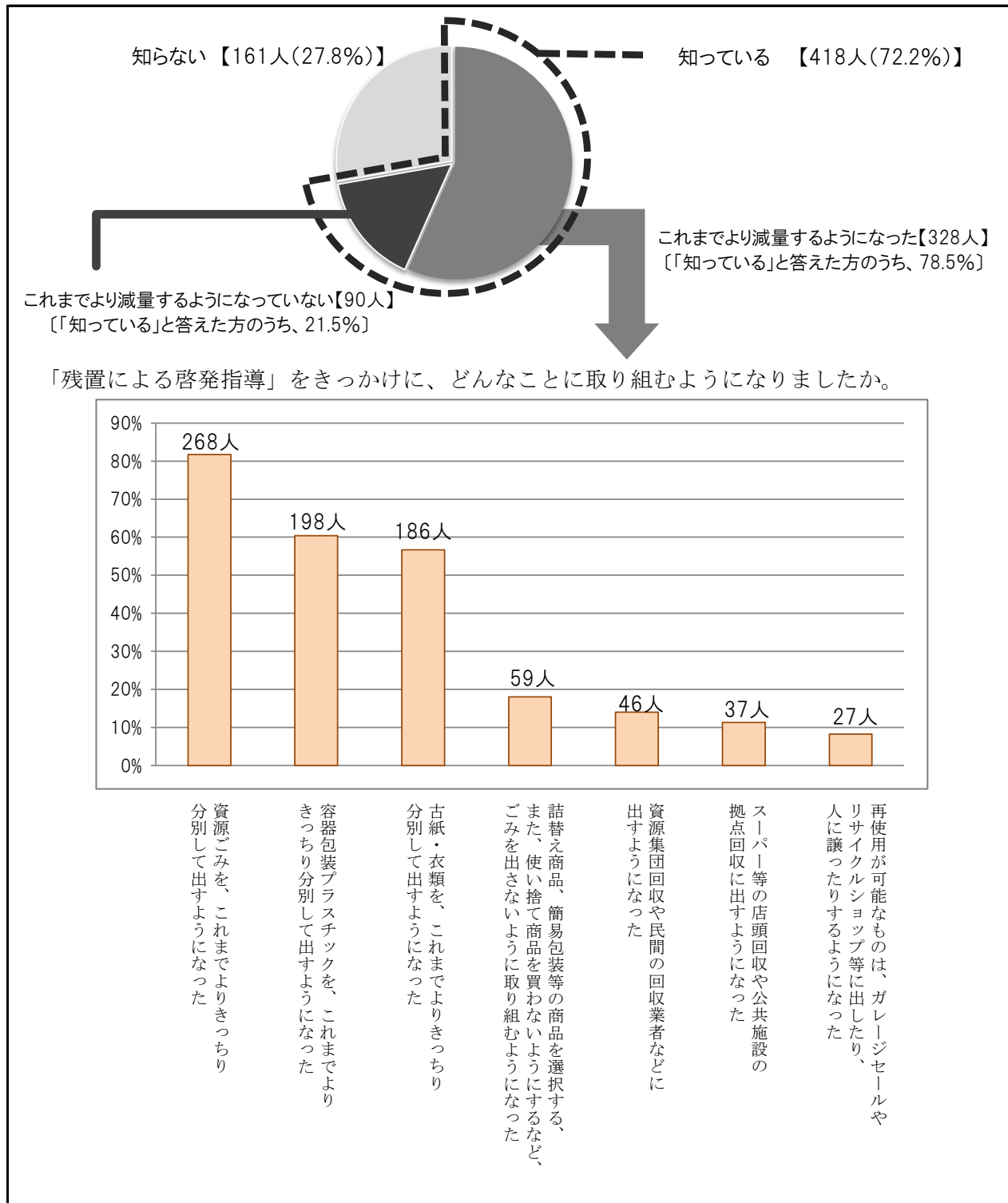
「残置による啓発指導」をきっかけに、これまでよりもごみを分けて出すようになったり、ごみなるべく出さないようになったりしていますか。

〔回答者数：418名〕

問8 【問7】で『なっている』とお答えの方にお尋ねします。

「残置による啓発指導」をきっかけに、どんなことに取り組むようになりましたか。

〔回答者数：328名〕



「残置による啓発指導」を行っていることを「知っている」方は72.2%であり、そのうちの78.5%（総回答者579人では56.6%）の方が、「これまでより減量するようになった」と答えた。

取組内容としては、資源ごみや容器包装プラスチック、古紙・衣類について以前よりも分別排出を徹底するようになったと答えた方が多かった。さらに、資源集団回収活動や拠点回収、ごみの発生抑制（リデュース）や再使用（リユース）に取り組むようになったと答えた方もおられた。

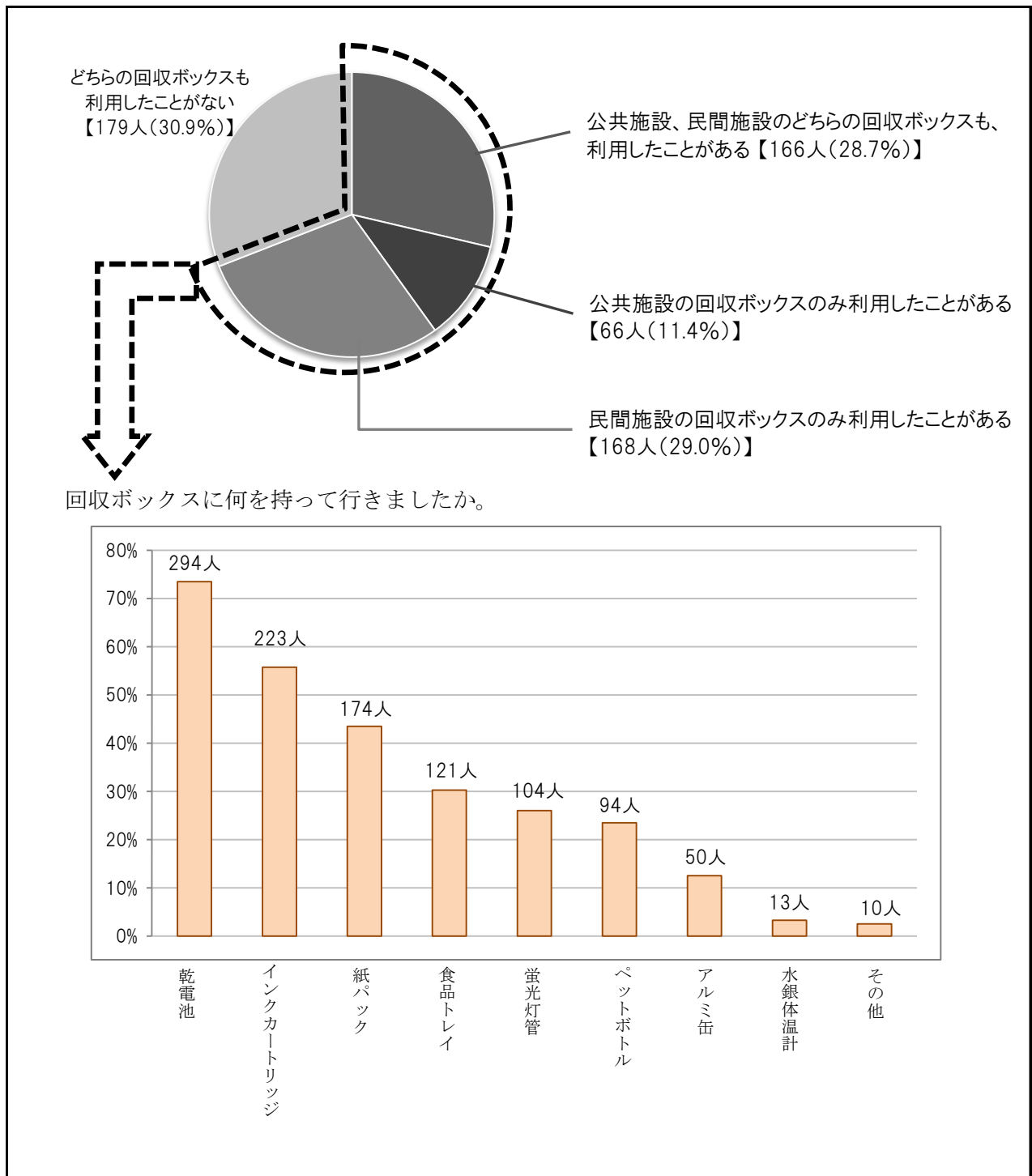
■ 拠点回収について

問9 あなたのご家庭では、これまでに回収ボックスを利用したことがありますか。 [回答者数：579名]

問10 【問9】で『回収ボックスを利用したことがある』とお答えの方にお尋ねします。

回収ボックスに何を持って行きましたか。

[回答者数：400名（複数回答可）]



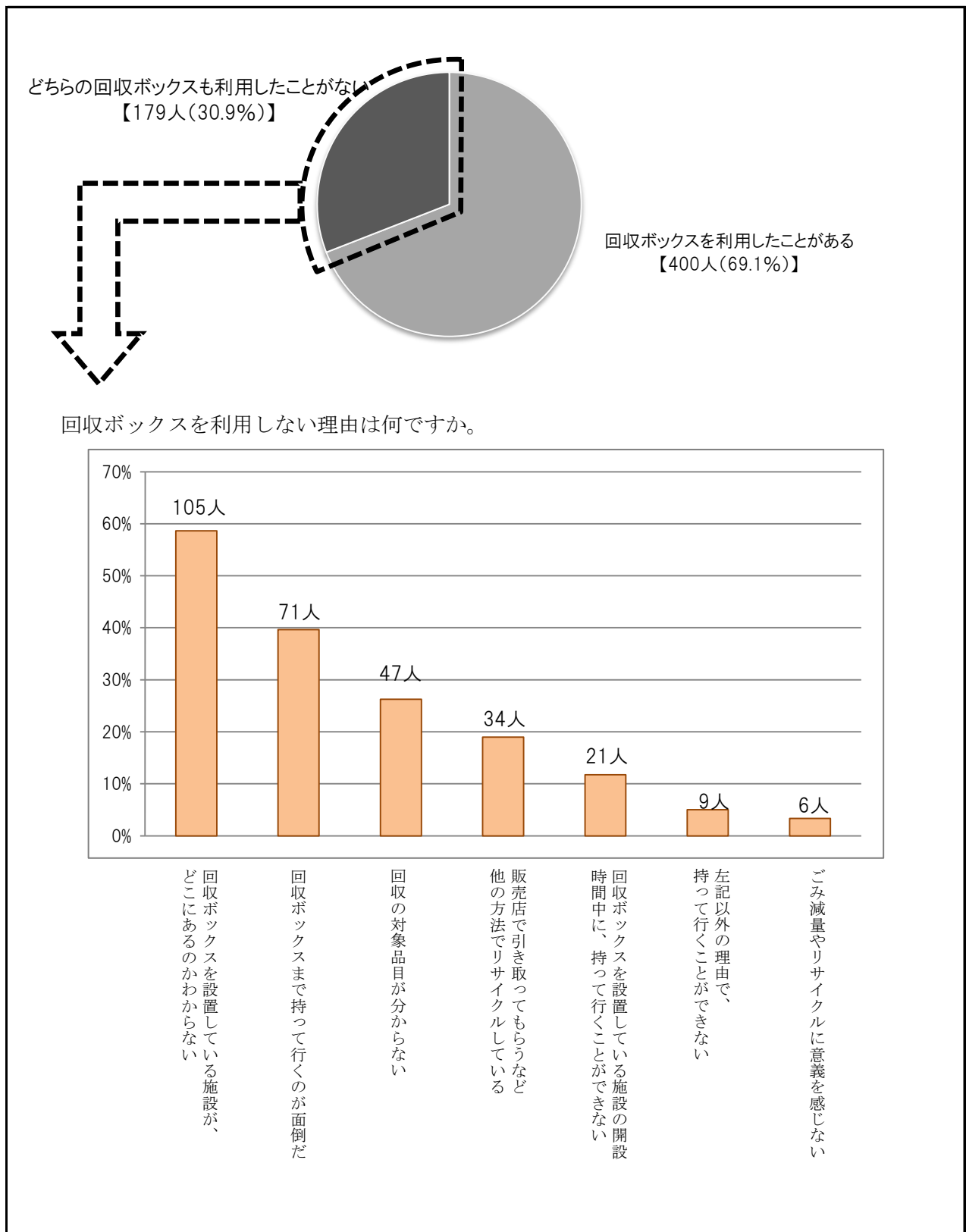
公共施設や民間施設の「回収ボックスを利用したことがある」方は、69.1%であった。

回収ボックスに持って行ったものについては、「乾電池」、「インクカートリッジ」、「紙パック」の順となっている。

問11 【問9】で『どちらの回収ボックスも、利用したことがない』とお答えの方にお尋ねします。

回収ボックスを利用しない理由は何ですか。

〔回答者数：179名（複数回答可）〕



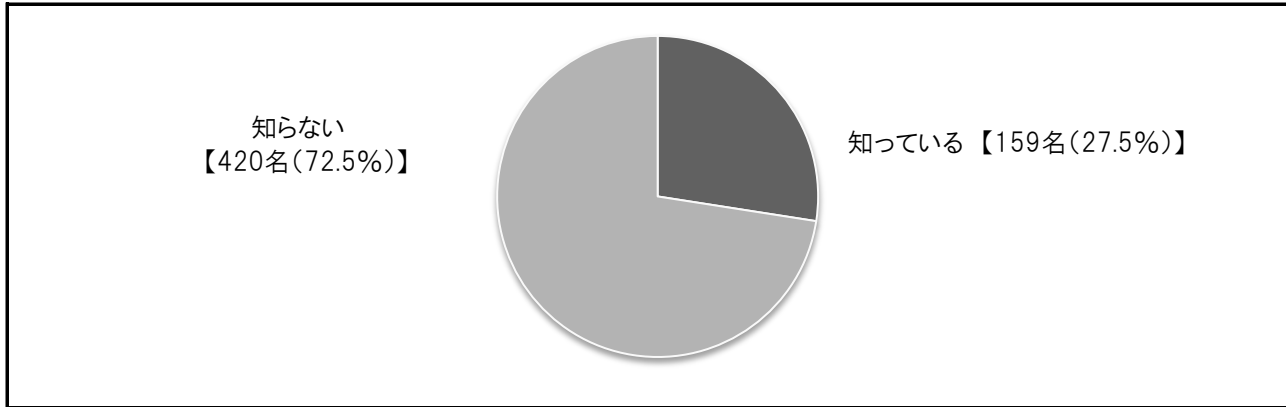
「回収ボックスを利用したことがない」理由として、「回収ボックスを設置している施設がどこにあるのかわからない」、「持って行くのが面倒だ」と答えた方が多い。

■ 使用済小型家電の回収について

大阪市では、平成25年12月から、区役所・市役所と環境事業センターに回収ボックスを設置し、ご家庭で不要になった使用済小型家電を回収しています。

問12 あなたは、大阪市で使用済小型家電の回収ボックスによる回収が始まったことを知っていますか。

[回答者数：579名]

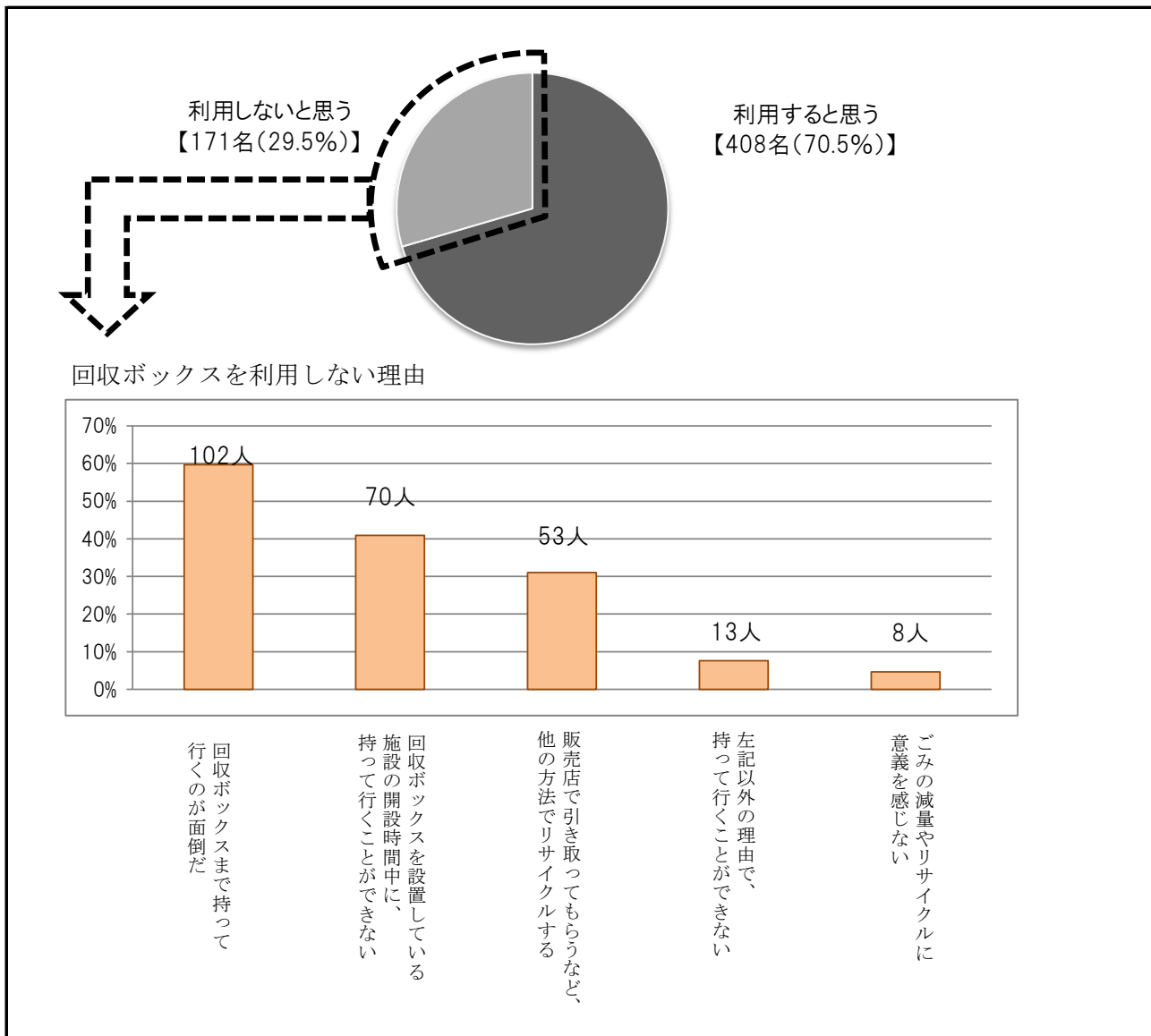


問13 今後、ご家庭から対象品目のごみが出た場合、回収ボックスを利用しますか。 [回答者数：579名]

問14 【問13】で『利用しないと思う』とお答えの方にお尋ねします。

回収ボックスを利用しない理由は何ですか。

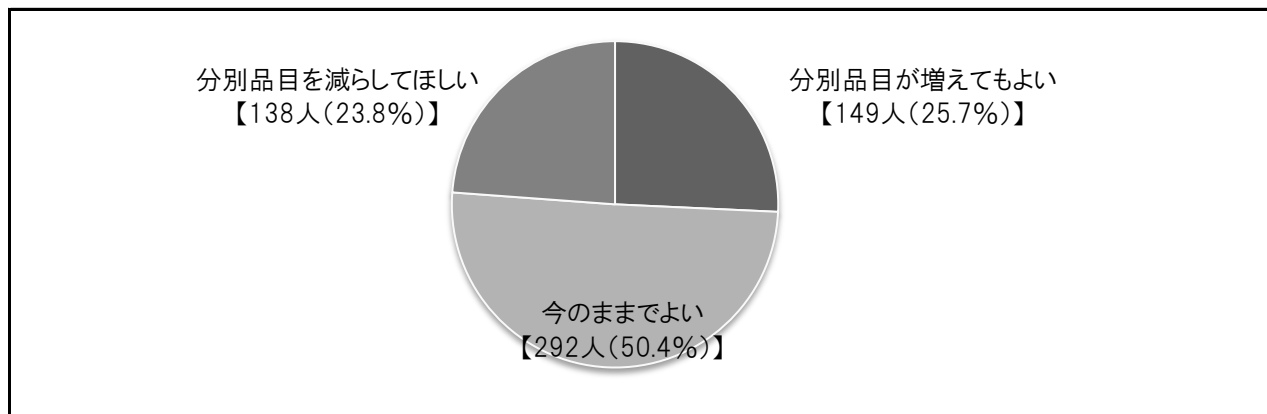
[回答者数：171名（複数回答可）]



使用済小型家電の拠点回収が始まったことについては、72.5%の方が「知らない」と答えているが、今後、回収ボックスを「利用するか」という問に対しては、70.5%の方が「利用すると思う」と答えている。

■ 大阪市のごみ減量の取組について

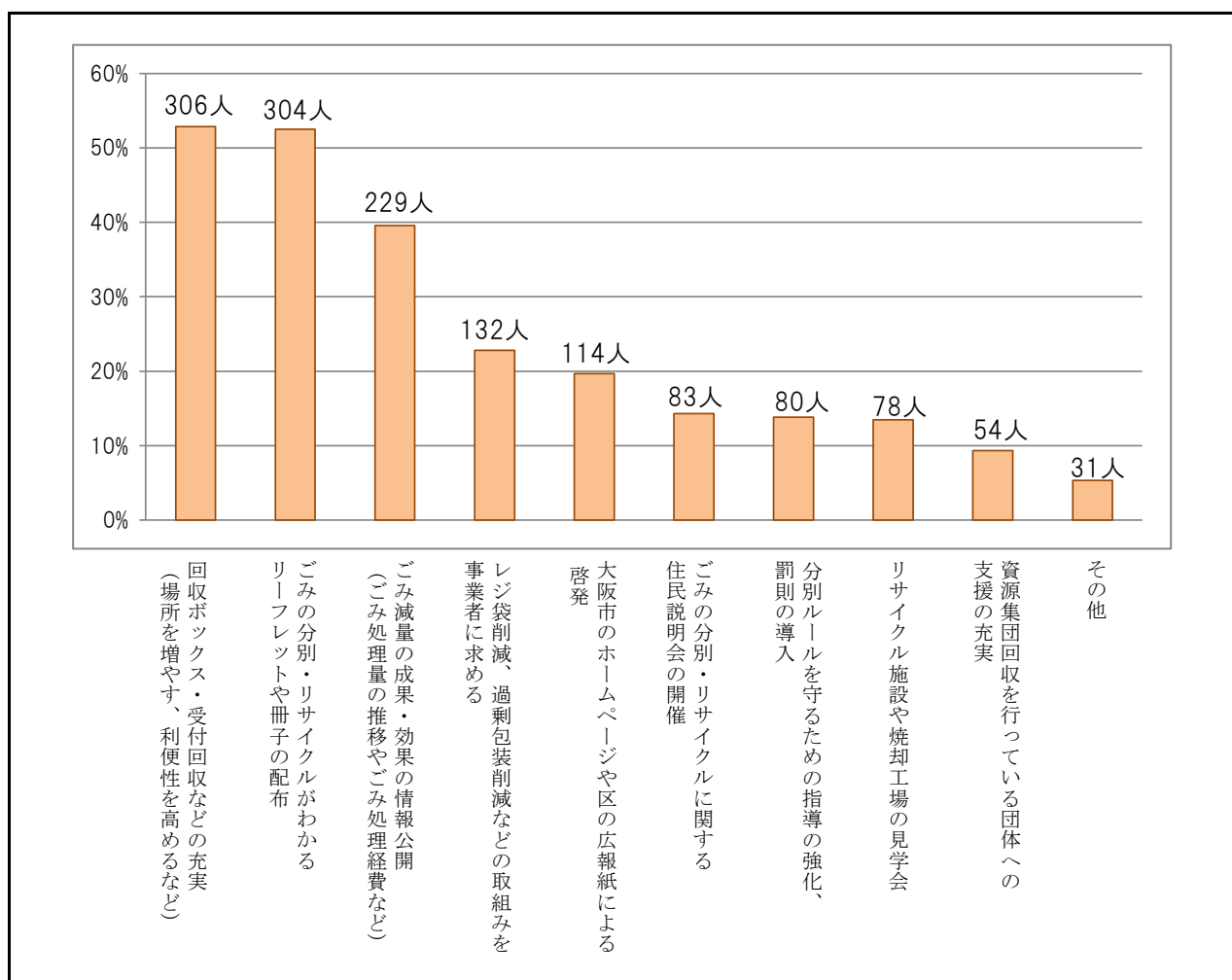
問15 あなたは、大阪市の家庭ごみの分別収集について、どのように考えていますか。〔回答者数：579名〕



大阪市の家庭ごみの分別収集の品目については、「今のままでよい」が50.4%となっている。

問16 次の取組みの中で“ごみ減量やリサイクルの意識が向上する”と、あなたが思うものは何ですか。

〔回答者数：579名（複数回答可）〕



「回収ボックス・受付回収などの充実」、「ごみの分別・リサイクルがわかるリーフレットや冊子の配布」、「ごみ減量の成果・効果の情報公開」と答えた方が多かった。

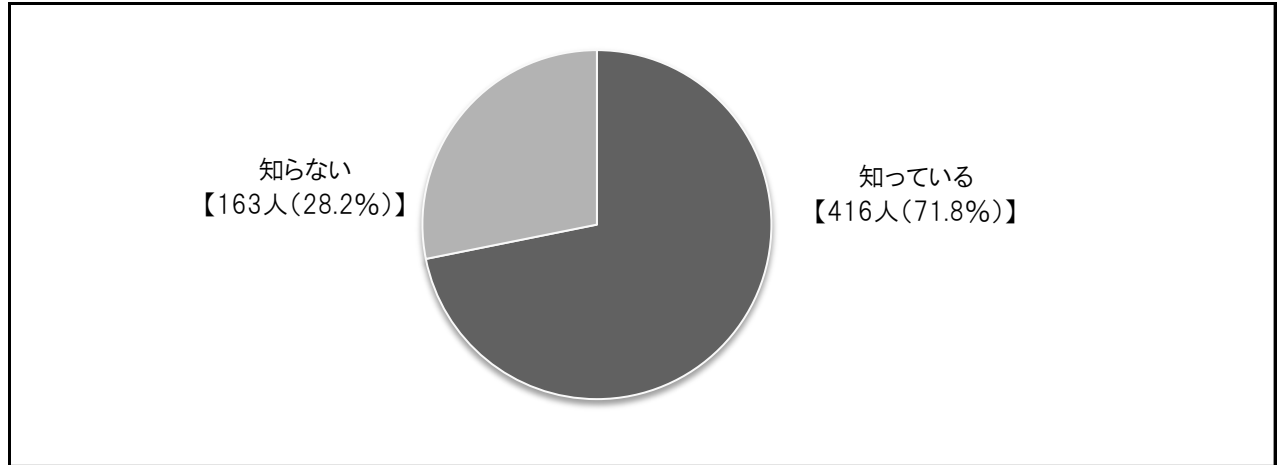
その他としては「分別品目がわからない品物を、スマートフォン等で検索できる機能があれば、正しく出せるのでは」や、「小学校等での幼いころからの教育」などの意見があった。

■ 新たなごみ減量施策について

他の市町村では、家庭からごみを出すときに、ごみ処理手数料が上乗せされた指定ごみ袋の購入とその利用を義務付けることにより、ごみ処理費用の一部を負担していただくことで、ごみの減量を進める施策（いわゆる「家庭ごみの有料化」）を実施しているところがあります。

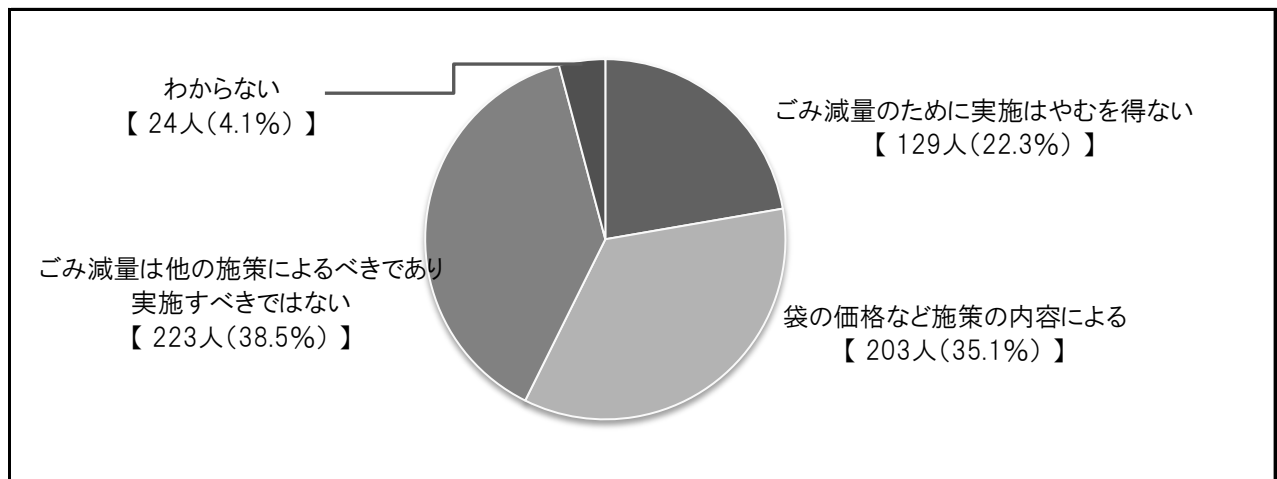
問17 あなたは、このような施策を知っていますか。

〔回答者数：579名〕



問18 あなたは、このようなごみ減量施策について、どう考えますか。

〔回答者数：579名〕



家庭系ごみの有料化については、やむを得ないと考える方が22.3%で、ごみの減量は他の施策によるべきで実施すべきではないと考える方が38.5%となっている。

問19 大阪市のごみ減量施策に関するご意見・ご感想があれば、お聞かせください。

アンケート回答者579名のうち、247名から325件のご意見が寄せられました。

主な意見は、次のとおりです。

- 地球環境にやさしい施策になっているのか、より負荷がかかっているのか心配であり、施策の効果が見える化してほしい。 [同様のご意見 41件]
- 指定ごみ袋を買ってごみを出す家庭ごみの有料化は、反対である。 [同様のご意見 24件]
- 家庭ごみを有料化すると、ごみの不法投棄が増える恐れがある。 [同様のご意見 16件]
- 蛍光灯や小型家電の回収については、今回のアンケートで初めて知った。広報をもっとしてほしい。 [同様のご意見 13件]
- 過剰包装を減らすことに対して、生産者と消費者、どちらにも取り組む意識を再度啓発してほしい。 [同様のご意見 11件]
- ごみの不法投棄対策を強化してほしい。 [同様のご意見 9件]
- 古紙・衣類の分別収集は、月2回の収集頻度では不便であるので、週1回にしてほしい。 [同様のご意見 8件]
- ごみの分別や排出方法をまとめた分かりやすい冊子があれば、分からないときに確認できて便利だと思う。 [同様のご意見 8件]
- ごみの分別やリサイクルについては子どものころからの教育(小学校や中学校と家庭)が大事だと思う。 [同様のご意見 6件]
- 空き缶や新聞紙など、市が収集する前に回収する業者の対策をしてほしい。 [同様のご意見 6件]

(その他)

- 古紙・衣類分別収集が始まったが、分別方法が分からない人がたくさんいるように思う。
- ごみ減量のためにも分別回収には賛成だが、もっと丁寧に周知徹底する方法を考え、行うべきだと思う。

《全体的コメント》

今回、古紙・衣類の分別収集や残置による啓発指導といった新たな施策の開始後に、市民の皆様の分別意識や行動がどう変化したか把握することを目的に調査を実施しました。

その結果、約60%の方がこれまでよりごみ減量に取り組むようになっており、これまで普通ごみに排出されていた新聞などの分別対象品目の多くが分別収集に排出されるようになるなど、新たな施策が市民の皆様のごみ減量・分別の取組に成果をあげていることが明らかになりました。

さらに、ごみの分別排出等について一層の普及啓発が必要などの意見もいただいております。大阪市としましては、こうしたアンケート調査の結果やご意見を今後の施策に反映し、さらなるごみ減量を進めてまいります。

ご協力ありがとうございました。